

## News Release



(別添)

2023年2月22日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中 部 支 所

## 小さなうっかりが大きな火災に

～ 「製品による建物火災」 ～

( 東海 4 県 版 )

NITE (ナイト) が収集したり製品による建物火災<sup>※1</sup>の事故情報<sup>※2</sup>は、東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)では、2017年度～2021年度までの5年間に合計52件あり、被害状況は、死亡6件(12%)、重傷4件(8%)、軽傷12件(23%)、人的被害を伴わない物的被害は、拡大被害30件(57%)となっています。

(※1) 本資料では、住宅や店舗などの建物が半焼または全焼した火災を「建物火災」としています。

(※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。

## 1. 製品による建物火災事故の発生状況

## (1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1に製品による建物火災事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 製品による建物火災事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
2017年度	0	2	1	1	4
2018年度	3	5	1	7	16
2019年度	4	2	0	2	8
2020年度	1	8	3	0	14
2021年度	0	6	2	1	10
合計	11	23	7	11	52

## (2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 に製品による建物火災事故の「県別」及び「被害状況別<sup>※3</sup>」の事故発生件数を示します。

表 2 製品による建物火災事故の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）

被害状況		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	1	4	0	1	6
	重傷	0	2	2	0	4
	軽傷	2	4	2	4	12
物的被害	拡大被害	8	13	3	6	30
	製品破損	0	0	0	0	0
被害なし		0	0	0	0	0
合計		11	23	7	11	52

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## (3) 東海 4 県の被害者の年齢別被害状況 事故発生件数

表 3 に製品による建物火災事故の「年齢別」及び「被害状況別<sup>※3</sup>」の事故発生件数を示します。

表 3 製品による建物火災事故の「年齢別」及び「被害状況別」事故発生件数（単位：件）

被害者年齢	被害状況 <sup>※3</sup>				合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	
80歳以上	5	1	6	3	15
70歳代	0	1	1	6	8
60歳代	0	0	1	4	5
その他	0	1	2	8	11
不明	1	1	2	9	13
合計	6	4	12	30	52

## (4) 東海 4 県の製品別 事故発生件数

表 4 に製品による建物火災事故の「製品別」及び「被害状況別<sup>※3</sup>」事故発生件数を示します。

表 4 製品による建物火災事故の「製品別」及び「被害状況別」事故発生件数（単位：件）

製品名\被害状況	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	合計
電気ストーブ	3	0	2	4	9
石油ストーブ	1	0	4	3	8
石油ファンヒーター・ 石油温風暖房機	2	1	0	5	8
ガスこんろ	0	2	2	1	5
配線器具	0	0	0	3	3
冷蔵庫	0	0	1	2	3
その他	0	1	3	12	16
合計	6	4	12	30	52

※52 件の建物火災による事故のうち、4 件（8%）が誤使用・不注意による原因となっています。

## 2. 製品による建物火災事故の事故事例

### (1) ガスこんろ：可燃物がガスこんろに接触して着火した事故。【消費者の不注意による事故】

2020 年 2 月（静岡県、30 代・男性、軽傷（火災））

#### 【事故内容】

ガスこんろ及び建物を全焼する火災が発生し、1 名が軽傷を負った。

#### 【事故原因】

ガスこんろに出火の痕跡は認められないことから、ガスこんろの火を消し忘れたため、周辺に置かれていた可燃物に着火し、火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から離れない。」「機器の上や周囲には可燃物を置かない。」旨、記載されている。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】 ガスこんろ、可燃物

**(2) 石油温風暖房機：ガソリンを誤給油して出火した事故。〔消費者の誤使用による事故〕**

2018年2月（愛知県、40代・男性、拡大被害（火災））

**【事故内容】**

石油温風暖房機及び建物を全焼する火災が発生した。

**【事故原因】**

石油温風暖房機に誤ってガソリンを給油したため、気化したガソリンに点火時の火花等が引火して出火に至ったものと推定される。

なお、石油温風暖房機のカートリッジタンクには、「ガソリン使用禁止」の注意ラベルが貼付されている。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】 石油温風暖房機、建物、ガソリン

**事故品・事例を確認****一般消費者用検索ツール「SAFE-Lite」のご紹介**

NITEはホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「SAFE-Lite（セーフ・ライト）」のサービスを行っております。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称（製品）に関連する事故の情報が表示されます。

<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>**3. 製品による建物火災事故の実験映像等について**

製品による建物火災事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ“nite”」としてください。

**（本件に関するお問い合わせ先）**

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 浅井 幹夫

担当者：横山、横田

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902